

龍谷大学大学院 政策学研究

The Bulletin of the Graduate School of Policy Science,
Ryukoku University

第5号

■論文■

- | | |
|--|-------|
| 過疎地域を支える地域振興の組織及び連携
——美山における地域振興システムの分析から—— | 岩松 義秀 |
| 自主防災活動が地域の減災に与える影響に関する研究
——2013年台風18号における大津市の自主防災組織活動分析から—— | 木村 尚 |
| 入院治療中心から地域生活へ
——なぜ精神障害の政策目的は実現しないのか—— | 竹村 忠憲 |
| 人口減少時代における離島集落の存続可能性の条件
——滋賀県近江八幡市「沖島」の事例を中心に—— | 益田 卓弥 |
| 日本とイギリスにおける空き家対策の比較研究
——イギリス「空き家管理命令」の意義と日本への示唆—— | 村上 毅 |

龍谷大学大学院 政策学研究

第5号

龍谷大学大学院政策学研究編集委員会

目 次

論 文

過疎地域を支える地域振興の組織及び連携
——美山における地域振興システムの分析から——……………岩松 義秀 (1)

自主防災活動が地域の減災に与える影響に関する研究
——2013年台風18号における大津市の自主防災組織活動分析から——……………木村 尚 (21)

入院治療中心から地域生活へ
——なぜ精神障害の政策目的は実現しないのか——……………竹村 忠憲 (39)

人口減少時代における離島集落の存続可能性の条件
——滋賀県近江八幡市「沖島」の事例を中心に——……………益田 卓弥 (57)

日本とイギリスにおける空き家対策の比較研究
——イギリス「空き家管理命令」の意義と日本への示唆——……………村上 毅 (77)

要 旨…………… (91)

2015年度修士論文・課題研究題目…………… (99)

2015年度 修士論文・課題研究題目

題	目	修了生
住民発意型バスの比較研究 ——京都市伏見区醍醐コミュニティバスと 神戸市東灘区住吉台くるくるバスの現状の比較から——		木村圭吾
地域自治区による狭域の住民自治充実の可能性と課題について ——新潟県上越市の事例の検証より——		辻賢
入院治療中心から地域生活へ ——なぜ精神障害の政策目的は実現しないのか——		竹村忠憲
過疎地域を支える地域振興の組織及び連携 ——美山における地域振興システムの分析から——		岩松義秀
自主防災活動が地域の減災に与える影響に関する研究 ——2013年台風18号における大津市の自主防災組織活動分析から——		木村尚
人口減少時代における離島集落の存続可能性の条件 ——滋賀県近江八幡市「沖島」の事例を中心に——		益田卓弥
日本とイギリスにおける空き家対策の比較研究 ——イギリス「空き家管理命令」の意義と日本への示唆——		村上毅
投資型クラウドファンディングの可能性と課題について		山崎元気

執筆 者 紹 介 (掲載順)

岩 松 義 秀	本学政策学研究科修士課程修了
木 村 尚	本学政策学研究科修士課程修了
竹 村 忠 憲	本学政策学研究科修士課程修了
益 田 卓 弥	本学政策学研究科修士課程修了
村 上 毅	本学政策学研究科修士課程修了
木 村 圭 吾	本学政策学研究科修士課程修了
辻 賢	本学政策学研究科修士課程修了
山 崎 元 気	本学政策学研究科修士課程修了

龍谷大学大学院『政策学研究』内規

制 定 2011年9月28日

一部改正 2012年6月6日

(目的と名称)

第1条 龍谷大学大学院政策学研究科院生の学術研究の奨励及びその成果の発表のため、学術雑誌を年1回発行する。

2 この学術雑誌を『政策学研究』と称する。

(『政策学研究』の構成)

第2条 『政策学研究』には、修士論文、課題研究及びその他の研究成果（以下「論文」という。）並びに修士論文要旨及び課題研究要旨（以下「要旨」という。）を掲載する。

(論文提出資格)

第3条 『政策学研究』に掲載する論文を提出する資格を有する者は下記のとおりとする。

- ① 大学院政策学研究科在籍者。
- ② 大学院政策学研究科修了者。
- ③ その他編集委員会が認めた者。

(編集委員会)

第4条 『政策学研究』の編集に関する事項を管掌するため、『政策学研究』編集委員会（以下「委員会」という。）をおく。

- 2 委員会は、大学院政策学研究科所属の専任教員2名により構成する。
- 3 委員の任期は1年とする。但し再任を妨げない。
- 4 委員会に委員長をおく。委員長選出は委員の互選による。
- 5 委員会の招集は、委員長がおこなう。

(論文及び要旨の掲載手続)

第5条 論文は、委員会の定めた募集要項に基づき、本内規第3条に該当する者よりこれを公募する。

- 2 前項の論文のうち、原則として修士課程における指導教員の推薦に基づき、委員会が承認したものを掲載する。
- 3 要旨は、原則として前年度修士課程修了者全員の修士論文要旨及び課題研究要旨を掲載する。

(論文及び要旨の電子化及びインターネットでの公開)

第6条 『政策学研究』に掲載された論文及び要旨は、原則として電子化し、龍谷大学図書館ホームページ、機関リポジトリ等を通じてインターネットに公開する。

(著作権)

第7条 論文及び要旨の著作権は、その著作者が保持する。

- 2 論文及び要旨の著作者は、著作権の行使を龍谷大学に許諾するものとする。ただしこの許諾は、執筆者の人格権に影響を及ぼすものではない。
- 3 前項の許諾は、論文及び要旨の原稿が提出された時点で行われたものとする。
- 4 論文及び要旨における既存の著作物の利用（引用・転載等）に関し権利者との間に生じた紛争については、著作者がその任にあたる。

(事務)

第8条 『政策学研究』に関する事務は、研究部がおこなう。

付 則

この規程は、2011年9月28日より施行する。

付 則（2012年6月6日第6条、第7条、第8条改正）

この規程は、2012年6月6日より施行する。

龍谷大学大学院政策学研究 第5号

2016年7月31日 発行

編 集 龍谷大学大学院政策学研究編集委員会
発 行 京都市伏見区深草塚本町67

印 刷 株式会社 富山房インターナショナル
京都市南区吉祥院池田南町13

The Bulletin of the Graduate School of Policy Science, Ryukoku University

Articles

Local Stakeholder Collaborations for Challenging Depopulation:
A Study on the Local Revitalization Framework in Miyama

Yoshihide IWAMATSU

Research Voluntary Disaster Prevention Activities Related to Impact on Disaster Reduction of Regional:
Voluntary Disaster Prevention Organization Activity Analysis of Otsu in 2013 Typhoon No.18

Takashi KIMURA

From Hospital Treatment Life to Life in the Community:
In Order to Achieve the Policy Objectives of the Mental Disorder

Tadanori TAKEMURA

Conditions for Retaining Villages on Isolated Islands under the Circumstance of Depopulation:
Okishima in Omihachiman City, Shiga Prefecture as a Main Case Study

Takuya MASUDA

A Comparative Study on Measures for Empty Homes in Japan and England:
Significance of Empty Dwelling Management Orders in England and its Implications for Japan

Takeshi MURAKAMI